

長畝ふるさと通信

【2015年4月号】

■ 播種は低温注意で・・・

4月2日から今年の種まきがスタートしました。4月に入ってから連日の雨・曇天でこの日の気温は「8.2度」。1日の播種量は4,500箱ほど。吐息が白い寒～い1日でした。作業終了後は「健苗成就」を祈願して軽く一杯・・・のつもりが・・・百姓の悲しい性ですか・・・



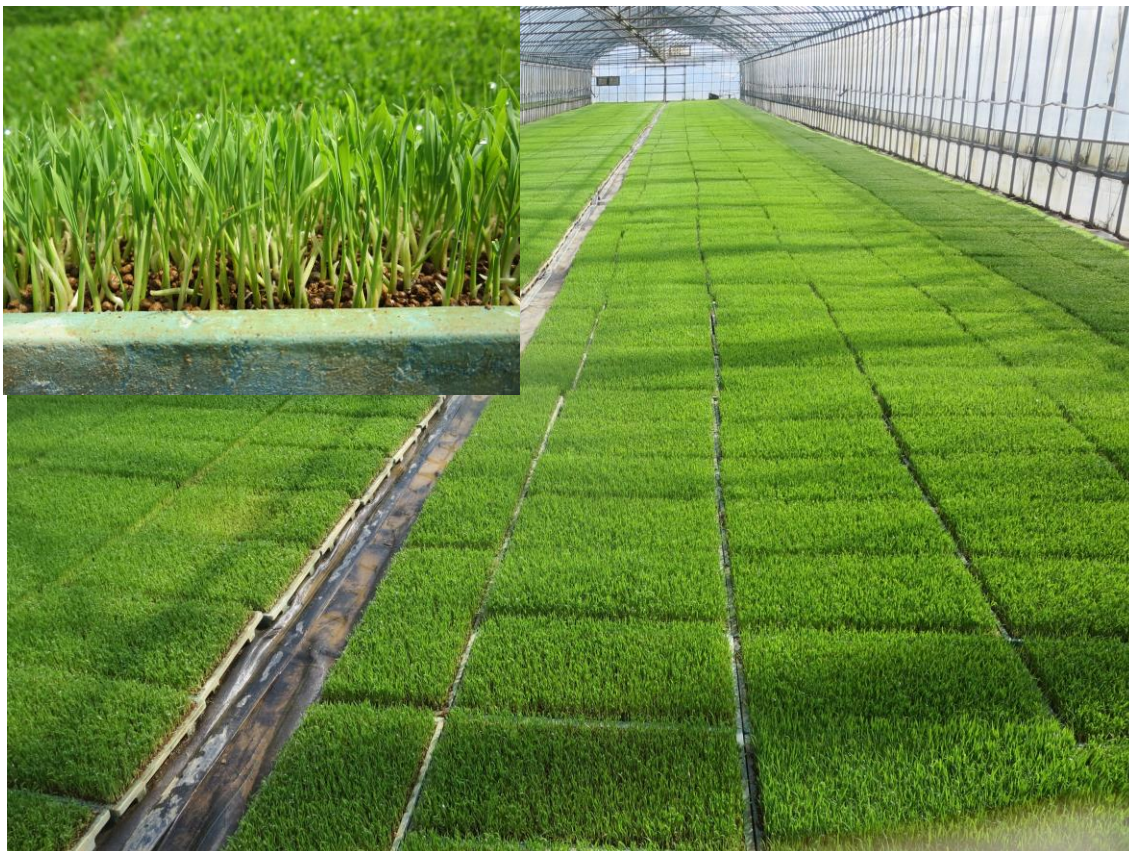
27年度の播種計画はコシヒカリ9,400箱、こしいぶき5,800箱、こがねもち530箱、五百万石2,100箱
合計約18,000箱となっています。

播種機のレーンに1箱ずつ苗箱が流され、土を敷き、水を撒き、種もみを蒔き、さらに土をかぶせていきます。以上の行程が終了するとパレットに段積みにして催芽庫に並べられ、30度の蒸気で3日間加温すると白い芽が5ミリほど出芽してくるのです。



出芽した苗箱は大きな育苗ハウスへと運ばれ、1枚ずつ並べていきます。昨年までは1度の苗出しに10人もの作業者が腰をかがめながら苗箱を1枚ずつ並べていましたが、今年から「苗箱並べ機・ベルノくん」を導入したおかげで、たったの4人でしかも腰を全くかがめることなく作業できるので大助かりです。問題は年4日しか稼働しないベルノくんですが・・・

ハウスに並んだ苗箱に被覆シートをかぶせてさらに3日経過すると、白かった芽は見事に緑化し、ごらんの通りです。これから田植えまでの間、毎日水をやり温度管理をしてやります。こんな育苗ハウスが8棟あり、毎日毎日苗と話をしながら田植えまでを過ごすのです。



■ お祭りは途中から土砂降り・・・(こんなに雨が降ったのはここ10年記憶にありません)

4月15日は長畝集落のお祭りです。佐渡では4月に入るとそれぞれの地域でお祭りがあり、中でも伝統芸能「鬼太鼓」は集落ごとに流派があり、島の若者たちがその伝統を受け継いでいます。

長畝集落のお宮さんは佐渡に3カ所しかない「気比(けひ)神社」で、祭神は足仲彦尊(仲哀天皇)と息長帯姫尊(神功皇后)だそうです(難しいことは全くわかりませんが・・・)。

早朝5時半ころから奉納の鬼太鼓が始まり、その後、集落の1件1件を門付けして回ります。天気予報では昼頃から雨の予報でしたが、空は快晴。「こりゃ1日持つんじゃね？」などと淡い期待に心を弾ませながらいつもよりのんびりと飲んできておりましたが・・・昼前にはどんよりした雨雲が広がってあっという間にずぶ濡れ状態に・・・甘かった・・・





● 朝の奉納の舞
緊張と気合いが空回りしてどこかぎこちない白鬼くんでした

● 夜中の門付けの舞
疲れもピークに達し、やけくそで頑張る黒鬼くんでした



● 本人の了解は取り付けておりませんが、面の下にはこんなふざけた顔があったりします。伝統芸能を継承すべく約一ヶ月間毎晩練習しました。自信に満ちあふれた顔です・・・？

祭りが終わると本格的に百姓モード突入です。TPP交渉でコメの輸入枠がどうなるのか、政府の約束した「聖域」は守られそうにありませんが、今、私たちにできることは今年も変わらずおいしいお米を作ることだけ。伝統芸能を守りつつ、ふるさとはいつまでもふるさとであり続けたいと思う今日この頃でした。

<4月27日、水を張った田んぼの風景>

